

最新農業技術情報

冬に土を凍らせて上手な畑管理

道総研 北見農業試験場 研究部 生産環境グループ
道総研 十勝農業試験場 研究部 生産環境グループ

1. 成果の概要

- (1) 冬期間に雪踏みを行うことにより、野良イモの防除と土壌物理性の改善が可能です。
- (2) 生産者が凍結深を把握できる土壌凍結深推定システムを整備しました。

2. 成果内容

秋まき小麦の上での雪踏みをする、無処理（自然積雪）と比べて子実重は増加しないか、減収する場合もありました。減収した圃場では積雪深が浅いときに雪踏みを行っていたため、茎葉が損傷し、減収する要因となっていました（図1）。したがって、秋まき小麦圃場では積雪深20cm未満での雪踏みを避けることで、効果的な野良イモ対策を実施することが可能です。

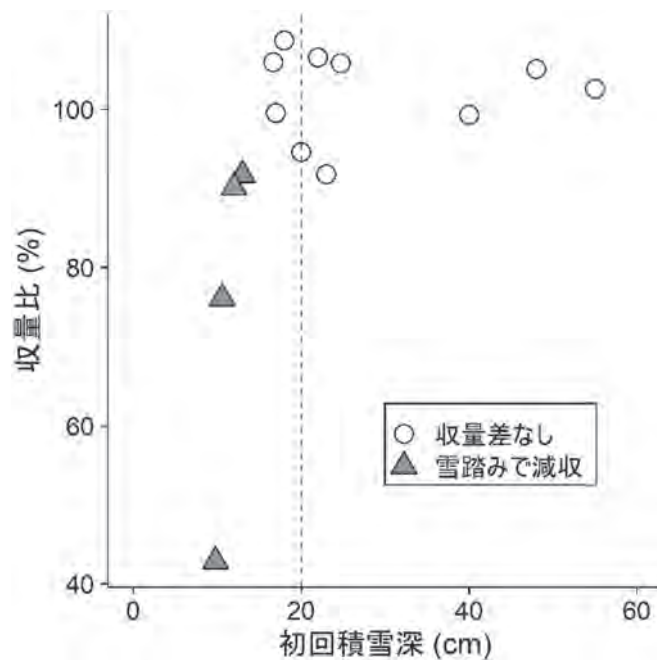


図1 初回雪踏み時の積雪深と収量比の関係
(破線は積雪深20cm)

直播てんさい前の雪踏みにより碎土性は向上しますが、春の地温上昇が遅れるため、初期生育が劣ります。そのため収量の向上は期待できません。